

高島市長

つめこみ、申込打ち切り... これで「待機児ゼロ」!?



10月7日市議会決算特で質疑に立つ綿貫市議

綿貫英彦市議 決算特で市を追及

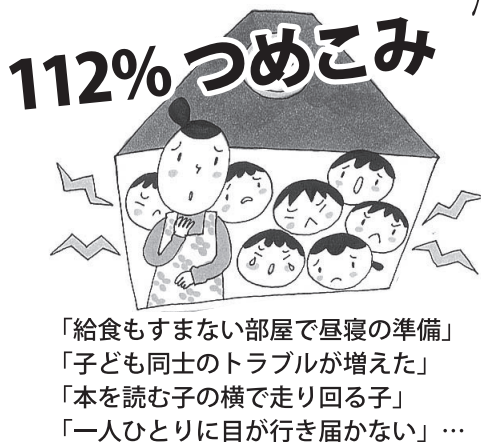
10月7日、市議会決算特別委員会総会で、日本共産党の綿貫英彦市議が、高島市長が今進めている「待機児ゼロ」の手法のごまかしを厳しく追及しました。

激しいつめこみで保育の質低下の危険

福岡市の待機児は、今月8月時点で 露。定員の112%にもなり、法定の878人にのぼる深刻な事態です。 最低基準の趣旨にも反すると指摘しました。

市は新設での対応を基本とせず、2014年4月1日の保育園入所児童数を「調整」するとして、需要見込みを1726人も上回る3万3126人を詰め込めるよう、各認可園に猛烈な攻勢をかけています。

綿貫市議は「ある園では、区の担当者が出て、さらに区長まで来て、当初の回答以上の受け入れを求めた。つめこみの押しつけだ」と現場の実態を暴

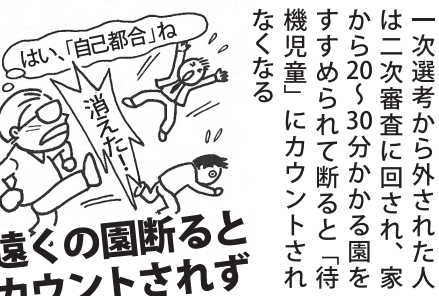


「給食もすまない部屋で昼寝の準備」
「子ども同士のトラブルが増えた」
「本を読む子の横で走り回る子」
「一人ひとりに目が行き届かない」...

待機児カウントから外す姑息な手法

一次選考から外された人は二次審査に回され、家から20〜30分かかる園をすめられて断ると「待機児童」にカウントされなくなる

綿貫市議があばいた市長の「待機児の帳面消し」手法



新設もっと増やし真に待機児なくせ

綿貫市議は「実際には待機児はいるのに、高島市長は見せかけだけ待機児をゼロにしてしまおうと新設ももっと増やし真に待機児なくせしている。真の待機児解消へ新設を増やして対応し、保育士確保へ処遇改善を行え」と迫りました。